Deewani Mastani

【語り部による導入】

なばとぅーに あーり あぷさら
天女が地上に舞い降りた

なばとぅーに あーり あぷさら
天女が地上に舞い降りた

あし すんだら さーじゃ さじゃぷな
天女は高貴な装飾品を身にまとっていた

あーり あーり あーり、あーり がー あーり
そうやってきた、やってきた

けさまでぃ まあだ がじゅら
天女は髪に花の冠を乗せて

ろかちゃ なずら きるや てぃちゃわーだー
周りの者は誰も目をそらすことができない

あーり あーり あーり
そうやってきた

どぅにや ちー ぴゃーり とぅ
彼女はみなに愛される

あが なーり はるに が
彼女は鹿のように気高く美しい

あが らーにー すんだらー ははははー
彼女は美の女王

あーり がー あーり、あーり がー あーり
そうやってきた、やってきた

あーり あーり
やってきた　やってきた

【マスターニーによる歌の部分】

なざる じょ てり らーぎ め でぃわーに ほー がい
あなたから目を離せなくなり、私は狂おしいほどに恋に落ちました

でぃわーに はーん でぃわーに でぃわーに ほー がい
狂おしい恋に落ちたのです、そうです、狂おしい恋に落ちてしまったのです

ましゅふーる めーれー いしゅく き かはーに ほー がい
私の愛の物語はみなが知ることとなりました

じょ じゃぐ ね まーに とー めいね びー たあに
誰も私を信じていなかったから、私は心を決めたのです

かはーん てぃー め でこー かはーん ちゃり ああいー
どこか別の場所にいたのに、ほらごらんなさい、私がたどり着いた場所を

けへて へ いぇー でぃわーにー ますたーに ほー がい
みながいっていますでしょう、マスターニは狂おしく恋に落ちたと

ましゅふーる めーれー いしゅく き かはーに ほー がい
私の愛の物語はみなが知ることとなりました

じょ じゃぐ ね な まーに とー めいね びー たあに
誰も私を信じていなかったから、私は心を決めたのです

かはーん てぃー め でこー かはーん ちゃり ああいー
どこか別の場所にいたのに、ほらごらんなさい、私がたどり着いた場所を

けへて へ いぇー でぃわーにー ますたーに ほー がい
みながいっていますでしょう、マスターニは狂おしく恋に落ちたと

でぃわーに はーん でぃわーに でぃわーに ほー がい
狂おしい恋に落ちたのです、そうです、狂おしい恋に落ちてしまったのです

ざはーむ えいさー とぅにー らがーやー
あなたは私の心に傷を負わせました

でぃわーに でぃわーに でぃわーに でぃわーに ほー がい
狂おしい恋に落ちたのです、狂おしい恋に落ちてしまったのです

まるはーむ えいさー とぅにー らがーやー
射抜かれたその傷に、あなたはこんなふうに薬を塗ったのですわ

るはーに るはーに るはーに るはーに ほー がい
だから私の魂は囚われたのです、囚われたのです、囚われてしまったのです

ぺへちゃーぬ めーれー いしゅく き あぶ とー
私の愛の証はいまや

ぺへちゃーぬ めーれー いしゅく き あぶ とー
私の愛の証はいまや

らわーに らわーに らわーに らわーに ほー がい
じっとしていることができないほど　できないほど

ましゅふーる めーれー いしゅく き かはーに ほー がい
私の愛の物語はみなが知ることとなりました

けへて へー いぇー でぃわーに ますたーに ほー がいー
みながいっていますでしょう、マスターニは狂おしく恋に落ちたと

でぃわーに はーん でぃわーに でぃわーに ほー がい
狂おしい恋に落ちたのです、そうです、狂おしい恋に落ちてしまったです

ましゅふーる めーれー いしゅく き かはーに ほー がい
私の愛の物語はみなが知ることとなりました

じょ じゃぐ ね な まーに とー めいね びー たあに
誰も私を信じていなかったから、私は心を決めたのです

かはーん てぃー め でこー かはーん ちゃり ああいー
どこか別の場所にいたのに、ほらごらんなさい、私がたどり着いた場所を

けへて へ いぇー でぃわーにー ますたーに ほー がい
みながいっていますでしょう、マスターニは狂おしく恋に落ちたと

でぃわーに はーん でぃわーに でぃわーに ほー がい
狂おしい恋に落ちたです、そうです、狂おしい恋に落ちてしまったのです

【男声合唱】

さぶ ぬーる ぬーる さ びくら へー
あちらこちらに灯りがともっている

えーく とぅ ひ かやーろん め うとぅら へー
私にはあなたしか見えない

ばす じゅーむ じゅーむ じゅーむ じゅーむ じゃーた へー でぃる
私の心は休みなく踊り続けている

とぅ ますたーに へー とぅ でぃわーに へー
おまえは心酔しきっているのだ　心苦しいまでに
（Mastaniには「夢中である」「陶酔している」の意がある）

ぱーけざ はすてぃ へー てり とぅ ぬーらーに へー
おまえの姿は純粋そのものだ　おまえは輝くばかりに美しい

さぶ ぬーる ぬーる さ びくら へー
あちこちに灯りがともっている

えーく とぅ ひ かやーろん め うとぅら へー
私にはあなたしか見えない

インド情報 WEB マガジン Masala Press
http://masala-press.jp/
マサラプレス　検索
Presented by DOZO